学校番号	２１３

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料 2025（東京法令出版株式会社） ニューコンパスノート　政治・経済（東京法令出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の公共の内容と関連付けて発展的に学習すること。単に重要語句を暗記するだけではなく、資料や判例などの理解を深めること。また、授業中は積極的にメモをするなど主体的に取り組むとともに、多面的な考え方・判断能力を育成し、自分の意見をもてるようにすること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる知識や考え方などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
学んだ知識・考え方、概念や理論などを活用して、社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる、国民主権を担う公民として、国家・社会の平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家・社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる知識や考え方を理解し、身につける。 ・諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	・学んだ知識・考え方、概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する。 ・身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論する。 ・公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	・よりよい社会の実現のために現実の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる、国民主権を担う公民として、国家・社会の平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家・社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章民主政治の基本原理	1.政治と法 ・政治と、政治がおこなわれる場である国家と、その制度について理解する。 2.民主政治と人権保障の発展 ・近代市民革命と基本的人権について、歴史的にどのように発展したか理解する。 3.国民主権と民主主義の発展 民主政治について理解し、多数決原理によって運営される民主政治の意義と課題について考える。 4.世界の政治体制 ・世界の多種多様な政治体制について理解し、民主政治の諸原理が、各国の政治制度にどのように反映されているか理解する。	a: 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、大統領制・議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。国際社会の中の日本の役割を理解する。 b: 現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察。構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集する。 c: 現代日本の政治の課題解決に向けて考察、構想する。	定期考査 小テスト コンパスノート	定期考査 資料読み取り	レポート提出 プリント提出
	第2章日本国憲法の基本的性格	1.日本国憲法の成立 ・日本国憲法が大日本帝国憲法と比較して、どのような違いかあるか理解する。 2.平和主義 ・日本国憲法下での平和主義と日本の安全保障政策を理解し、これからの世界で、日本の平和と安全を守るために必要なことを考察する。 3.基本的人権の保障 ・日本国憲法の人権保障を理解し、私たちの生活のなかで、どのような人権に関する問題が起きているのか考察する。 4.人権の広がり ・憲法に定められていない新しい人権について理解し、現在。憲法に規定すべき人権保障について考察する	a: 日本国憲法の成立過程、基本原理、大日本帝国憲法との違いを理解し。新しい人権を含めた基本的人権の内容を理解する。 b: 基本的人権や平和主義に関する判例や現実の問題・課題を考察する。憲法の改正手続きについて考える。2年次の公共で学んだ経済的知識をもとに政治と経済の関りを考察する。 c: 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治・経済の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。	定期考査 小テスト コンパスノート	定期考査 資料読み取り	レポート提出 プリント提出

2学期	第3章日本の政治機構	1.立法 ・「国権の最高機関」であり、「唯一の立法機関」である国会の制度を理解し、国会の運営についての課題について考察する。 2.行政 ・議員内閣制のもとでの内閣の構成と権限について理解する。また、内閣総理大臣はどんな地位と権限をもつか理解する。 3.司法 ・「司法権の独立」を確保しつつ、裁判所を国民に開かれたものとするために、どのような制度が作られてきたか理解する。 4.地方自治 ・「民主主義の学校」とよばれる地方自治の制度について理解し、こんにち、地上自治がどのような課題を抱えているか考察する。	a: 国会・内閣・裁判所・地方自治の仕組みや課題を理解する。 b: 日本の統治機構に関する判例や現実の問題や課題を考察する。 c: 本の政治機構について主体的に追究して, 課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト コンパスノート	定期考査 資料読み取り	レポート提出 プリント提出
	第4章現代日本の政治	1.戦後政治の歩み ・日本の政党政治の特徴について理解し、その課題について考察する。 2.選挙制度 ・日本の選挙制度の特徴について理解し、その課題について考察する。 3.政治参加と世論 ・現代社会では、政治参加の制度や方法が発達しているが、市民が政治に対して主体的にかかわるためには、どのような課題があるか考察する。	a: 政党を中心とした戦後政治の歩み、選挙制度、政治参加の制度や方法など基本的な知識を理解する。 b: 政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方、国際社会との関りについて多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 c: 主権者として、日本の政治、国際社会の日本の役割等を主体的に追究して, 課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト コンパスノート	定期考査 資料読み取り 研究発表	レポート提出 プリント提出

3学期	第3編現代日本における諸課題の探求・第2部第3章国際社会の諸課題の探究	1.地域社会の自立と政府. 2.防災と安全・安心な社会の実現 3.歳入・歳出両面での財政健全化 4.産業構造の変化と起業 5.食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 6.多様な働き方･生き方を可能にする社会 7.少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 1.紛争の解決に向けた国際社会の取り組み 2.グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 3.イノベーションと成長市場 4.地球環境と資源･エネルギー問題 5.国際経済格差の是正と国際協力 6.持続可能な国際社会づくり 各自が上の現代日本や国際社会の諸課題参考に興味がある課題を調べなどし、その内容の要約、自らの意見を論述。 最近話題の政治経済に関する動画を見てそれについての意見・感想を記述。	a: 各自が諸課題を設定し、その内容について自ら調べて理解する。 b: 自ら設定した諸課題を様々な角度から考察し､レポートにまとめる。 c:自ら調べた内容や考察したことをレポートにまとめて提出。	調べ学習への取り組む	調べ学習への取り組む	提出物 出席点

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度